

令和8年10月27日
国立大学法人長岡技術科学大学
学長選考・監察会議

学長の業務執行の状況の検証結果について

国立大学法人長岡技術科学大学学長選考・監察会議規則第4条第3項に規定する学長の業務執行の状況の検証を行いましたので、その結果を公表します。

1. 検証のプロセス

令和8年度第5回学長選考・監察会議（令和8年9月18日開催）において、以下の資料、学長のプレゼンテーション及び学長選考・監察会議委員との質疑応答により検証した。

- ・学長選考基準（平成27年1月27日学長選考会議決定）
- ・学長選考時における所信（令和2年8月28日学長選考会議公示）
- ・令和7年度の計画に係る中期目標・中期計画の進捗状況に関する自己評価書
- ・監事の監査結果報告書（令和7事業年度監査報告書）
- ・令和7年度の業務執行状況の説明資料（プレゼンテーション資料）

2. 検証結果について

令和7年度における学長の業務執行は、明確な将来ビジョンと強力なリーダーシップのもとで適切に行われており、着実な成果を上げていると判断する。

大学機関別認証評価への対応や第4期中期目標・中期計画を確実に実施するとともに、事業の企画立案、戦略的な運営組織の改革に果敢に取り組んだ。特に、「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」をはじめとする大型の競争的資金を獲得したことは特筆に値する。さらに、複数件の経営改革促進事業の申請や新規プログラムへの応募など、外部資金の確保と新たな挑戦を強力に推進した点は高く評価できる。

研究・教育面においては、研究ユニット制度を推進して全学横断的な研究推進体制を構築した。特定の教員に偏ることなく、若手教員の育成に向けた基盤を構築したことは評価に値し、本学の将来的な発展に資する持続可能な体制として大いに期待される。